Ⅷ　附　　録

消防沿革の概要

歴代消防長・消防署長

車両一覧

消　防　沿　革　の　概　要

年　　月	事　　項
明治１０年　４月	平戸に私設消防組が柄長組として発足
明治２０年　４月	火消組と改名される。
明治２７年　８月	私設平戸町消防組発足
明治４４年　６月	私設平戸村田助浦消防組発足
大正　８年（推）	私設上下中津良、私設猪渡谷、私設堤消防組発足
大正　９年　４月	私設平戸村薄香浦消防組発足
７月	私設宝亀、私設木ヶ津消防組発足
大正１０年　２月	私設津吉、私設古田消防組発足
大正１１年　５月	私設紐差消防組発足
大正１４年　７月	私設川内浦消防組発足
（推）	私設度島消防組発足
昭和　２年　１月	私設平戸町白浜消防組発足
不詳	私設獅子、私設根獅子、私設志々伎岡消防組発足
昭和　５年　１月	公設中野村消防組発足
６月	公設紐差村消防組発足
昭和　７年　６月	公設平戸町消防組発足
（推）	公設津吉村、公設志々伎村、公設中津良村消防組発足
昭和　９年　５月	公設獅子村消防組発足
昭和１４年　４月	上記各消防組は警防団令施行により各警防団となり防空の任務が加わる。
昭和２２年１０月	勅令消防団施行により警防団を解団し各消防団となる。
昭和２３年　３月	消防組織法の施行により、勅令消防団を廃止
昭和３０年　１月	１町６ヶ村合併平戸市となる。
	市制施行により各消防団の町村名を除き平戸市を冠称する。
昭和３１年　８月	平戸市消防団発足
昭和３８年　１月	平戸市消防団　１団 28 ヶ分団　1,134 名となる。
昭和４６年　４月	平戸市消防本部、消防署設置
	初代消防長　橋口善治　就任（署長兼務）
	消防職員　30 名採用
	救急車１台日本自動車工業会より寄贈を受ける。
６月	分団統合により 19 ヶ分団　755 名となる。
昭和４７年　２月	消防本部、消防署庁舎落成、移転（戸石川町）
３月	消防大学校上幹２　１名入校
４月	消防長兼消防署長　下川　勇　就任
	消防通信一斉指令台設置
	無線電話設置
昭和４８年　４月	ヘリポート新設（南部　辻町）
昭和４９年　３月	生月出張所設置のため生月消防事務委託について市議会議決
４月	救急車１台　日本船舶振興会より寄贈を受ける。
昭和５０年　３月	ヘリポート新設（度島町）
４月	消防職員　10 名採用
	平戸市消防署生月出張所開所
昭和５０年　６月	消防長事務取扱　平戸市助役　酒井勝一　就任
昭和５１年　９月	屈折はしご付消防ポンプ自動車、工具車、広報車へ無線電話設置
１０月	消防長　三輪宇三郎　就任（署長兼務）
昭和５３年　３月	木引田町味のタウン建物大火災９棟全焼
６月	豪雨により大久保町地すべり災害発生（死者４名）
昭和５４年　１月	消防大学校救急科　１名入校

年　　月	事　　項
昭和５５年　１月	消防大学校救急科　１名入校
４月	消防長兼消防署長　西山忠義　就任
５月	消防職員　１名採用
６月	分団編成替えにより 21 ヶ分団とする。
昭和５６年１０月	救急車　１台日本消防協会より寄贈を受ける。
	車庫増設（庁舎横）
昭和５７年　４月	県下消防職員意見発表会（平戸市開催）
７月	九州地区消防救助技術指導会　２名出場（長崎市）
１０月	消防団員の定員条例改正に伴い 670 人となる。
１１月	小型動力ポンプ　１台日本損害保険協会より寄贈を受ける。
昭和５８年　２月	八市正副団長会開催（平戸市開催）
４月	消防職員　１名採用
６月	消防職員　１名採用
９月	長崎県消防ポンプ操法大会　第 16 分団出場
	消防職員　１名採用
１１月	消防相互応援協定訓練実施（平戸市開催）
昭和５９年　４月	消防長事務取扱者　岩崎久幸　就任
	消防職員　12 名採用
５月	県消防長会警防担当課長会（平戸市開催）
９月	平戸市消防署中津良出張所庁舎落成
１０月	平戸市消防署中津良出張所開所
１１月	無線電話機（固定、移動）各１台購入
	防火広報車　１台日本防火協会より寄贈を受ける。
	消防大学校上級幹部科　１名入校
昭和６０年　６月	救急車　１台日本損害保険協会より寄贈を受ける。
１０月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（大分市）
１１月	消防長　山西琢磨　就任（署長兼務）
昭和６１年　７月	第 39 回長崎県消防団大会（平戸市開催）
	長崎県消防長会予防事務研修会（平戸市開催）
８月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（熊本市）
	長崎県消防長会予防担当課長会議（平戸市開催）
１１月	救急指令装置Ｉ型設置（本署通信室）
昭和６２年　２月	救急車　１台日本自動車工業会より寄贈を受ける。（生月出張所）
	長崎県下消防吏員統一昇任試験（司令補・士長）
４月	消防職員　２名採用
７月	九州地区消防救助技術指導会　５名出場（佐賀市）
	救急車　１台　日本消防協会より寄贈を受ける。
昭和６３年　３月	本署訓練主塔（17m）新設・空気充填所新設
４月	消防長兼署長　阿部善次　就任
	救急業務応援協定締結
５月	消防大学校上級幹部科　１名入校
７月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（鹿児島市）
８月	長崎県下署長会議（平戸市開催）
９月	集団事故想定訓練（中部地区）
１１月	本署訓練補助塔（７ｍ）新設
１２月	第１回平戸市婦人･幼年防火の集い（文化センター）
平成　元年　３月	消防無線通信施設整備工事（屏風岳中継局新設、本署更新、上床更新）
５月	長崎県消防長会総務担当課長会議（平戸市開催）
７月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（長崎市）

年　　月	事　　項
平成　元年　８月	査察車１台日本消防協会共済事業により寄贈を受ける。
	消防大学校予防科　１名入校
９月	集団事故想定訓練（南部地区）
	消防ラッパ隊発足
１１月	長崎県婦人、幼少年防火の集い（文化センター）
平成　２年　３月	平戸市消防団消防庁長官表彰旗受賞
４月	消防職員　１名採用
	消防本部事務室改装
５月	消防大学校警防科　１名入校
６月	消防音楽隊発足
７月	消防監　１名昇任
９月	集団事故想定訓練（北部地区）
	八市正副団長会（平戸市開催）
１０月	九州地区消防駅伝大会　８名出場（熊本市）
	消防大学校救急科　１名入校
平成　３年　４月	長崎県下春季消防長会総会（平戸市開催）
	消防大学校警防科　１名入校
６月	平戸市総合防災訓練（岩の上町白浜埋立地）
７月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（北九州市）
９月	はしご付消防ポンプ自動車購入（本署）
	消防大学校予防科　１名入校
	集団事故想定訓練（生月町）
１０月	平戸市消防本部創立 20 周年式典（平戸文化センター）
１１月	第１回自衛消防隊初期消火操法大会
平成　４年　４月	消防長兼署長　鴨川健次郎　就任
	消防職員　１名採用
５月	消防大学校上級幹部科　１名入校
７月	緊急通報システム開通
	九州地区消防救助技術指導会　　６名出場（人吉市）
９月	軽可搬消防ポンプ　３台配置（日本消防協会より寄贈）
	集団事故想定訓練（中部地区）
１１月	九州地区消防職員駅伝大会　出場
平成　５年　５月	平戸市総合防災訓練（宝亀町港湾埋立地）
７月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（大分市）
９月	集団事故想定訓練（南部地区）
１０月	消防大学校予防科　１名入校
１１月	九州地区消防職員駅伝大会　出場
平成　６年　４月	消防職員　２名採用
	消防大学校救助科　１名入校
５月	第 47 回長崎県消防団大会（平戸市開催）
７月	九州地区消防救助技術指導大会　６名出場（沖縄市）
９月	集団事故想定訓練（北部地区）
１１月	長崎県消防長会　警防担当課長会議（平戸市開催）
平成　７年　４月	消防長　小西謙持　就任
７月	九州地区消防技術指導大会　４名出場（佐賀市）
８月	平戸市総合防災訓練（志々伎町港湾埋立地）
１１月	長崎婦人、幼少年防火の集い（文化センター）
平成　８年　８月	救急車１台　日本消防協会より寄贈を受ける。
平成　９年　１月	消防大学校予防科　１名入校

年　　月	事　　項
平成　９年　３月	消防団緊急伝達システム運用開始
４月	消防長　濵田晴夫　就任
７月	九州地区消防救助技術指導会　１名出場（佐世保市）
９月	平戸市総合防災訓練（川内町港湾埋立地）
平成１０年　４月	消防職員　２名採用
平成１１年　１月	消防大学校幹部科　1名入校
４月	消防長　前田初次　就任
	消防団員定数 670 名を 640 名に条例改正
１０月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（福岡市）
１２月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
平成１２年　４月	消防職員　３名採用
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
５月	消防団員定数 640 名を 625 名に条例改正
１０月	平戸市総合防災訓練（旧根獅子小学校跡地）
平成１３年　１月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
５月	消防団員定数 625 名を 600 名に条例改正
７月	消防大学校火災調査科　１名入校
	救急処置用訓練室増設　事務所改修
１０月	九州地区消防救助技術指導会　３名出場（沖縄市）
平成１４年　２月	平戸市消防本部創立 30 周年式典（平戸文化センター）
３月	消防団緊急伝達システム増設（12 ヶ所）
４月	消防長　松本聖二　就任
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
７月	消防大学校上級幹部科　１名入校
	平戸市総合防災訓練（大志々伎町垣留地区埋立地）
平成１５年　４月	消防本部の機構改革　３係を３課５係とする。
	消防職員　１名採用
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
平成１６年　４月	消防職員　１名採用
６月	平戸市総合防災訓練(川内町港湾埋立地)
７月	九州地区消防救助技術指導会　４名出場（国分市）
１０月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
平成１７年　４月	消防長　松尾茂廣　就任
	消防職員　１名採用
７月	九州地区消防救助技術指導会　４名出場（長崎市）
	全国消防救助技術大会　３名出場（さいたま市）
１０月	新平戸市誕生　１市２町１村合併(旧平戸市、生月町、田平町、大島村)
	平戸市消防団　定数 1,079 名　34 ヶ分団
	田平町消防事務委託(松浦地区消防本部)
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
平成１８年　４月	消防職員　９名採用
８月	全国消防救助技術大会　３名出場（札幌市）
平成１９年　４月	松浦地区消防組合消防本部から田平出張所が平戸市消防本部へ移管（移行者８名）
	警防課に救急救助係を新設し、３課６係とする。
	消防職員　７名採用
８月	全国消防救助技術大会　２名出場（東京都）
９月	消防職員　２名採用
	はしご付消防自動車　１台購入（本署）

年　　月	事　　項
平成１９年１０月	平戸市消防署大島出張所開所
	女性消防団員 12 名入団（本部付）
	第 18 回全国女性消防操法大会（平戸市女性消防団７名出場）
平成２０年　４月	消防職員　１名採用
６月	平戸市総合防災訓練（中部市民運動場）
９月	消防職員　３名採用
平成２１年　４月	消防職員　３名採用
	平戸市消防団　分団統合により 30 ヶ分団
８月	全国消防救助技術大会　３名出場（横浜市）
９月	消防職員　３名採用
平成２２年　４月	長崎県防災航空隊へ１名派遣
	消防職員　３名採用
６月	平戸市総合防災訓練（田平町釜田港）
８月	全国消防救助技術大会　５名出場（京都府）
９月	消防職員２名採用
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
平成２３年　３月	東日本大震災発生　M9.0（３月 11 日）
３月１４日	緊急消防援助隊　派遣（消火部隊、後方支援部隊　２隊５名）
	・活動場所：長崎県隊として久慈市白前･半崎地区、九戸郡野田村を捜索
	・活動期間：派遣期間 11 日間うち４日間
４月	消防職員　１名採用
９月	消防職員　２名採用
	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
１０月	消防大学校幹部科　１名入校
平成２４年　４月	消防長　中村幸一　就任
	消防職員　３名採用
６月	平戸市総合防災訓練（大島村的山川内　的山外港埋立地）
９月	消防職員　７名採用
	ひらど消防フェスタ 2012 開催
平成２５年　４月	救急救命士養成所　１名派遣（東京都）
８月	全国消防救助技術大会　３名出場（広島市）
１０月	消防大学校警防科　１名入校
平成２６年　４月	長崎県防災航空隊へ１名派遣
６月	平戸市総合防災訓練（大佐志町古田漁港）
１１月	ひらど消防フェスタ 2014 開催
平成２７年　３月	消防本部・消防署新庁舎及び訓練塔完成（岩の上町）
	高機能消防通信指令システム運用開始（離島型　NEC）
	消防・救急デジタル無線運用開始
	（白岳・緑ヶ岡・慈眼岳・早福中継局開設）
	救急業務総合支援システム（ATAS）運用開始
４月	消防長　松山敏雄　就任
	消防職員　２名採用
	警防課に通信指令係を新設し、３課７係とする。
	機能別消防団員 16 名入団
１０月	通信指令係を専従化とする。（６名）
平成２８年　３月	アナログ無線中継局解体撤去（上床・屏風）
４月	消防職員　２名採用
４月１４日	平成 28 年熊本地震発生　前震・震度７（４月 14 日）
	平成 28 年熊本地震発生　本震・震度７（４月 16 日）

年　　月	事　　項
平成２８年　４月	平成 28 年熊本地震　　平戸市・震度４（４月 16 日）
	緊急消防援助隊　派遣（消火小隊、後方支援小隊　延べ８隊 20 名）
	・活動場所：長崎県大隊として熊本市・益城町・南阿蘇村を捜索
	・派遣期間：第１次派遣隊（４月 14 日から４月 17 日）
	第２次派遣隊（４月 17 日から４月 20 日）
	第３次派遣隊（４月 20 日から４月 24 日）
	第４次派遣隊（４月 24 日から４月 25 日）
８月	消防大学校予防科　１名入校
	全国消防救助技術大会　３名出場（松山市）
１０月	ひらど消防フェスタ 2016 開催
平成２９年　３月	消防大学校新任教官科　１名入校
４月	消防長　川口智和　就任
	長崎県消防学校へ教官１名派遣
６月	消防大学校火災調査科　１名入校
７月	平戸市総合防災訓練（古江町下中野漁港）
	平成 29 年九州北部豪雨発生（７月５日）
７月６日	緊急消防援助隊　派遣（消火小隊、後方支援小隊　延べ 14 隊 35 名）
	・活動場所：長崎県大隊として福岡県東峰村、朝倉市を捜索
	・派遣期間：第１次派遣隊（７月６日から７月８日）
	第２次派遣隊（７月８日から７月 11 日）
	第３次派遣隊（７月 11 日から７月 14 日）
	第４次派遣隊（７月 14 日から７月 17 日）
	第５次派遣隊（７月 17 日から７月 20 日）
	第６次派遣隊（７月 20 日から７月 23 日）
	第７次派遣隊（７月 23 日から７月 25 日）
１２月	水槽付消防ポンプ自動車(キャフス付)１台　緊援隊補助金にて購入
	（中津良出張所）
平成３０年　４月	消防職員　２名採用
８月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
１０月	ひらど消防フェスタ 2018 開催（平戸市福祉健康まつり）
平成３１年　１月	消防大学校上級幹部科　１名入校
	広報車(消防団防災学習・災害活動車両)１台　本署へ配置
	（公益財団法人　日本消防協会寄贈）
４月	消防職員　２名採用
令和　元年　６月	平戸市総合防災訓練（生月町生月漁港）
９月	消防職員　１名採用
１０月	消防大学校警防科　１名入校
	ひらど消防フェスタ 2019 開催（平戸市福祉健康まつり）
令和　２年　４月	消防長　本山繁治　就任
	長崎県防災航空隊へ１名派遣、消防職員　１名採用
７月	令和２年７月豪雨に伴う災害発生（７月３日）
	緊急消防援助隊　派遣（消火小隊、後方支援小隊　延べ４隊 10 名）
	・活動場所：長崎県大隊として熊本県八代市を捜索
	・派遣期間：第１次派遣隊（７月４日から７月７日）
	第２次派遣隊（７月７日、進出中途中引揚）
８月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
令和　３年　３月	高規格救急車１台　生月出張所へ配置
	（一般社団法人　日本自動車工業会寄贈）
	平戸市消防署　生月出張所新庁舎完成

年　　月	事　　項
令和　３年　６月	平戸市総合防災訓練（大石脇町旧根獅子小学校跡地）
８月	消防大学校予防科　１名入校
１１月	消防ポンプ自動車(キャフス付)２台購入　本署へ配置
	高規格救急車１台　田平出張所へ配置
令和　４年　４月	消防職員　１名採用
７月	救急自動車１台購入　大島出張所へ配置
	九州地区消防救助技術指導会　４名出場（諫早市）
令和　５年　２月	消防ポンプ自動車(キャフス付)１台購入　大島出張所へ配置
４月	消防職員　２名採用
６月	平戸市総合防災訓練（田平町釜田港）
７月	九州地区消防救助技術指導会　４名出場（宮崎市）
８月	全国消防救助技術大会　５名出場（札幌市）
１０月	消防職員　３名採用
令和　６年　２月	指揮車(消防団防災学習・災害活動車両)１台　本署へ配置
	（公益財団法人　日本消防協会寄贈）
３月	消防ポンプ自動車(キャフス付)１台購入　生月出張所へ配置
４月	消防長　岩田英治　就任
	消防職員　５名採用
	九州地区消防職員意見発表　１名出場（大分県）
７月	消防職員　１名採用
８月	全国消防救助技術大会　５名出場（千葉市）
令和　７年　３月	平戸市消防署　田平出張所新庁舎完成
４月	消防職員　６名採用
	九州地区消防職員意見発表　１名出場（佐賀県）
６月	本署ポンプ１号車と中津良タンク車を配置換え
７月	高規格救急車１台購入　本署へ配置
	九州地区消防救助技術大会　４名出場（沖縄県中頭郡中城村）
	平戸市総合防災訓練（大島村的山港）
８月	救急救命士養成所　１名派遣（北九州市）
１２月	消防ポンプ自動車(キャフス付)１台購入　田平出張所へ配置
令和　８年　４月	消防長　林誠　就任
	長崎県防災航空隊　１名派遣、消防職員　５名採用
６月	消防大学校警防科　１名入校

歴代消防長

代別	氏名	在職期間	備考
初代	橋口　善治	自昭和46年４月１日　至昭和47年３月31日	
2代	下川　勇	自昭和47年４月１日　至昭和50年５月31日	
3代	酒井　勝一	自昭和50年６月１日　至昭和51年10月６日	事務取扱（市助役）
4代	三輪　宇三郎	自昭和51年10月８日　至昭和55年３月31日	
5代	西山　忠義	自昭和55年４月１日　至昭和59年３月31日	
6代	岩崎　久幸	自昭和59年４月１日　至昭和60年10月31日	事務取扱（市助役）
7代	山西　琢磨	自昭和60年11月１日　至昭和63年３月31日	
8代	阿部　善次	自昭和63年４月１日　至平成４年３月31日	
9代	鴨川　健次郎	自平成４年４月１日　至平成７年３月31日	
10代	小西　謙持	自平成７年４月１日　至平成９年３月31日	
11代	濵田　晴夫	自平成９年４月１日　至平成11年３月31日	
12代	前田　初次	自平成11年４月１日　至平成14年３月31日	
13代	松本　聖二	自平成14年４月１日　至平成17年３月31日	
14代	松尾　茂廣	自平成17年４月１日　至平成24年３月31日	
15代	中村　幸一	自平成24年４月１日　至平成27年３月31日	
16代	松山　敏雄	自平成27年４月１日　至平成29年３月31日	
17代	川口　智和	自平成29年４月１日　至令和２年３月31日	
18代	本山　繁治	自令和２年４月１日　至令和６年３月31日	
19代	岩田　英治	自令和６年４月１日　至令和８年３月31日	
20代	林　誠	自令和８年４月１日	

歴代消防署長

代別	氏名	在職期間	備考
初代	橋口　善治	自昭和46年４月１日　至昭和47年３月31日	
2代	下川　勇	自昭和47年４月１日　至昭和50年６月１日	
3代	三輪　宇三郎	自昭和50年６月３日　至昭和55年３月31日	
4代	西山　忠義	自昭和55年４月１日　至昭和59年３月31日	
5代	山西　琢磨	自昭和59年４月１日　至昭和63年３月31日	
6代	阿部　善次	自昭和63年４月１日　至平成４年３月31日	
7代	鴨川　健次郎	自平成４年４月１日　至平成７年３月31日	
8代	山口　和夫	自平成７年４月１日　至平成12年３月31日	
9代	大石　嗣男	自平成12年４月１日　至平成16年３月31日	
10代	前田　繁	自平成16年４月１日　至平成18年３月31日	
11代	谷田　美幸	自平成18年４月１日　至平成18年９月30日	
12代	高本　健治	自平成18年10月１日　至平成20年３月31日	
13代	神田　篤政	自平成20年４月１日　至平成24年３月31日	
14代	川村　茂実	自平成24年４月１日　至平成26年３月31日	
15代	川口　智和	自平成26年４月１日　至平成28年３月31日	
16代	本山　繁治	自平成28年４月１日　至平成29年３月31日	
17代	篠田　修一	自平成29年４月１日　至令和２年３月31日	
18代	大石　宇一	自令和２年４月１日　至令和５年３月31日	
19代	岩田　英治	自令和５年４月１日　至令和６年３月31日	
20代	大石　宇一	自令和６年４月１日　至令和７年３月31日	
21代	西　勝明	自令和７年４月１日　至令和８年３月31日	
22代	大浦　秀樹	自令和８年４月１日	

車両一覧

水槽（800L）付消防ポンプ車(キャフス付)

水槽（1,500L）付消防ポンプ車(キャフス付)

はしご車

救助工作車

高規格救急車(トヨタハイエース)

高規格救急車(C-CABIN)

救急車

指揮車

指揮車

査察車

広報車

Historical Island Hirado

HIRADO